

輸出事業計画

申請者名：藤屋わさび農園有限会社 品目：わさび、わさび加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・長野県はわさびの生産量が全国 1 位（シェア43.4%）
（出典：令和2年特用林産物生産統計調査）
- ・2021年 1 月より韓国大手財閥系食品会社と業務提携し、生鮮わさびの販売が順調に伸長
- ・アジア圏全体においては日本食ブームが高まっており、わさびの需要も増加していることから、東南アジア等と強いパイプを持つ国内商社と取引を開始
- ・その他、輸出先ターゲット毎に輸出商社・輸入業者と商談を重ねている
- ・ヨーロッパ圏でも今後の需要増加が見込まれ、2021年 9 月に安曇野市内10事業者で販路拡大プロジェクトとして渡仏し、生鮮わさび、練わさびのPR販売を実施
- ・多言語のWebサイトを制作（<http://fujiyawasabi.com/public/>）

【課題】

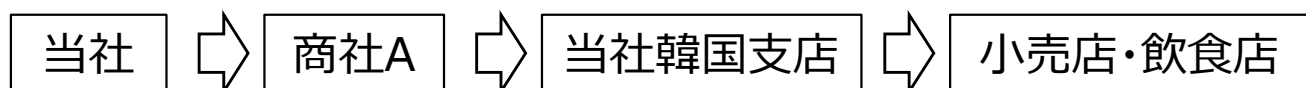
- ・海外から求められる高品質なわさびの商品を製造するには、衛生的で安定した温度管理ができる装置・設備が必要
- ・どの輸出ターゲットにおいても、加工食品については国際規格FSSC22000の取得が必要



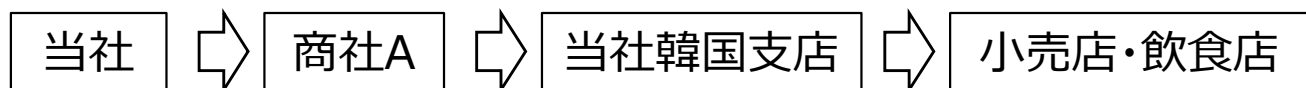
2. 輸出事業計画の取組内容

- ・2021年度に長野県安曇野市内に新工場を設置
- ・国際規格（HACCP、ISO22000、FSSC22000等）に対応するため、衛生管理及び温度管理が可能な装置・設備に改修
※食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業活用
- ・工場設置後、FSSC22000を取得し、海外ニーズに対応した衛生的、かつ、高品質なわさび商品の販路及び輸出量の拡大を図る
- ・FSSC22000（品目：わさび）2022年4月取得予定

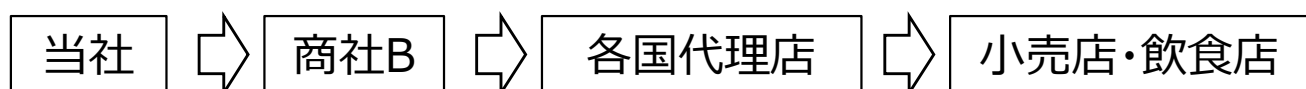
【現在の商流】 （韓国）



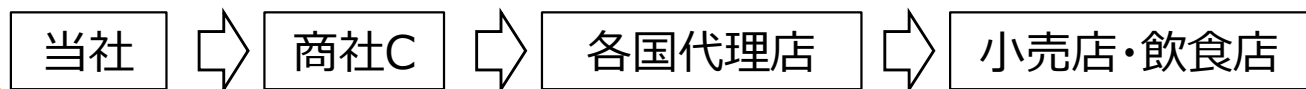
【今後の商流】 （韓国）



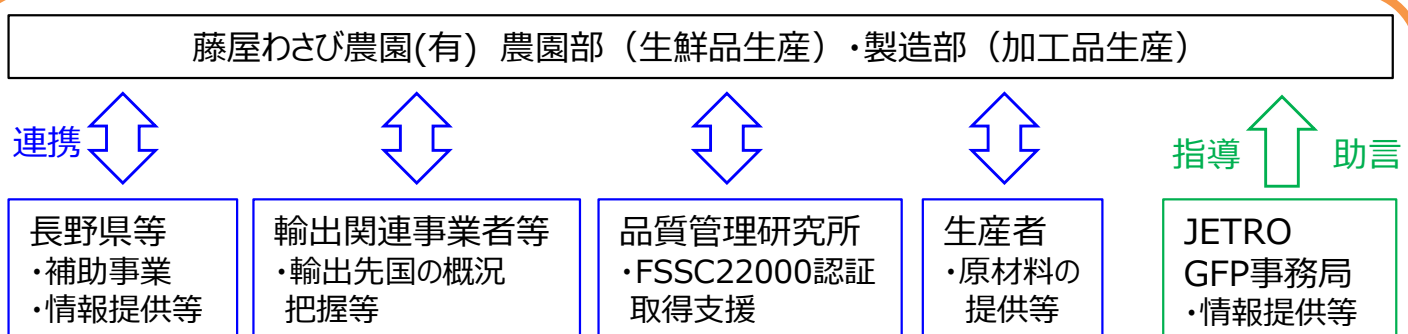
（ヨーロッパ諸国・アメリカ）



（アジア諸国）



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

【現状】

輸出額 16,715千円

輸出量 2.82t

輸出国 韓国



【目標】

輸出額 50,000千円

輸出量 18.06t

輸出国 韓国、アメリカ、ヨーロッパ諸国、アジア諸国

【内訳】

生鮮わさび	現状 (2020年9月期)	目標年 (2027年9月期)
輸出額(千円)	15,774	36,500
輸出量 (t)	1.71	4.56
輸出先国	韓国	韓国 アメリカ ヨーロッパ諸国 アジア諸国

練りわさび	現状 (2020年9月期)	目標年 (2027年9月期)
輸出額(千円)	941	13,500
輸出量 (t)	1.11	13.5
輸出先国	韓国	韓国 アメリカ ヨーロッパ諸国 アジア諸国